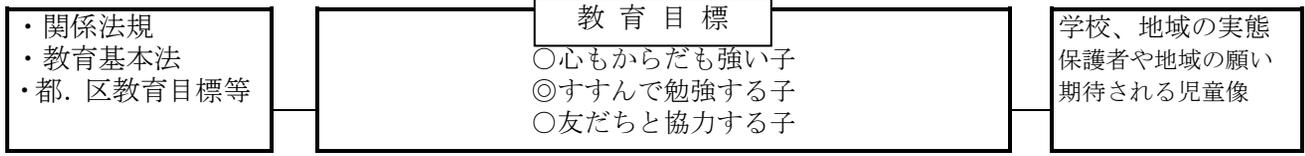


港区立芝浦小学校 平成27年度 授業改善推進プラン



**学校経営方針（学力向上にかかわる要点）**

☆確かな学力の定着と豊かな心の育成を目指して、子供一人一人の個性を活かした指導法の工夫を図る。  
 ☆「児童が主体的に学ぶ指導の工夫」についての授業研究を積み重ね、教師が相互に切磋琢磨し合う中で、授業力の向上に努める。  
 ☆読書活動の一環として読書の時間と読書量を確保し、読書の習慣化を図るとともに、感想の交流や読み聞かせ活動へと広げる。

**各教科の指導の重点を確実に児童に身に付けさせるため次の取組みを行う**

道徳教育の指導の重点	教科名	取組内容	生活指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育全体を通して、自他共に尊重する心情を育てる。また一人一人の道徳的実践力の向上と啓発的人間関係の喜びを経験させ、心の教育・命を大切にされた教育の推進を図る。</li> <li>発達段階に応じて日常的な道徳指導を展開すると共に多様で適切な資料を活用した授業の充実を図る。</li> </ul>	国語	1 朝学習と昼読書を継続することにより、基礎的・基本的学力の定着及び読書の習慣化をはかる。朝学習については、各種学力調査結果の分析を基に内容を精選し年間計画を立てる。 ②自分の考えや主張を筋道立てて的確に表現する力を身につけるために、各単元で国語辞典を活用する場面を設定し、語彙を増やすとともに、文章の意図や構成を考えて書く力の育成に重点を置く指導を行う。併せて習得したことを活用する場面を意図的に設定し、表現活動の充実をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の児童を十分に理解し、適切な支援及び指導を行う。児童が自己を確立していく態度を養うために、安心して安定した学校生活が送れるよう環境作りに努める。</li> <li>全校であいさつ運動に取り組むことにより、気持ちの良い挨拶が飛び交う環境をつくる。</li> <li>「芝浦の子」（ルールブック）を活用することによって、集団生活での基本的行動様式を十分理解させ、規範意識を高める。</li> <li>一貫した指導体制のもと、保護者や地域・関係諸機関との連携を強め、非行や交通事故・災害被害を未然に防ぐ能力を培う。</li> </ul>
	社会	1 児童が興味関心をもって自ら問いをもち進んで学べるよう、地図、グラフ、比較資料、写真などの資料を効果的に提示し、社会的事象を取り上げる。また地域の特色を活かした単元開発に取り組む。 2 思考力・判断力を育成するために、資料から読み取ったことと、それに対する考えや振り返りを書く場面を意図的に設定する。また方角や記号、地名などの基礎的・基本的な知識については、教室に掲示したり、授業の始めに確認する時間を設けたり、家庭学習で復習させたりすることで定着させる。	
	算数	1 習熟度別少人数指導のコースを準備テストで適切に編成し、個に応じた指導を効果的に行うことで、確かな学力の定着をはかる。特に思考力・表現力を伸ばすために、既習事項を活用して見通す場面、自分の考えを表現する場面、学び合いによって知的コミュニケーションをはかる場面に重点をおき、指導の工夫を行う。 ②単元の始めや既習事項の振り返りの場面で「東京ベーシックドリル」を活用し、特に計算や図形の作図など、繰り返し学習による習熟が必要な課題についての基礎的・基本的学力の定着をはかる。また習熟度に差がある「量と測定」領域については、量感を育てるために算数的活動を工夫する。	
	理科	①問題解決型の授業を繰り返すことで、児童の学習課題に対する意識を高める。特に実験観察については、「得られた結果を、生活経験や既習事項を根拠に考察し、まとめる」という学習の流れを授業の中で実践し身に付けることで、科学的な思考力・表現力を育てる。 ②教材や実験器具を人数に合わせて適正に準備し、実験の場と時間を確保することで、全員に実験操作を十分に体験させ、実験器具の扱い方や記録の取り方等についての基本的な技術の向上をはかる。	
	生活	1 身近な環境や自分についての気付きを自分の言葉で話したり書いたりする活動を多く取り入れることにより、表現力を身に付けると共に、よりよい気付きへとつなげる。 ②国語や図工等との総合的な指導により、児童の気付きを深め、表現する力、関連付ける力を育てる。	
	音楽	①音楽発表会、鑑賞会、音楽朝会等の、行事や鑑賞、発表の機会を多く設け、音楽への関心を高める。 ②歌唱、楽器の表現活動において、学期に数回グループ学習を取り入れ、互いにかかわり合う中で、練習と技能の向上の意識付けを行い、意欲や能力、そして自己肯定感を高める。	
	図工	①児童が表現の過程を自ら展開していけるように、魅力ある題材を開発し、題材における「材料」「場所」「操作性」「行為性」などについて十分に留意する。 ②児童が自分の創作活動に自信をもって取り組めるように、自らの感じ方やイメージを発表し合う場を設け、共感性を大切にされた指導を行う。	
	家庭	1 個に応じた指導を大切にしながら、基本的な技能を身に付けさせ、児童が自ら創意工夫できる発展的な活動へとつなげる。 ②児童が、身に付けた知識や技能をよりよい生活へとつなげられるように、授業で学んだ知識や技能を家庭で実践する課題を提示し、実践を促す。	
	体育	1 児童が自分のめあてをもって、工夫して運動すること、友達と一緒に活動しねらいを達成することの楽しさを味わえるように、学習カード等を活用し、活動計画、指導の工夫を行う。 ②体操やなわとび運動、ダンス等、体を動かす楽しさを感じられる運動を体育朝会で取り上げ、運動の機会を増やすとともに、進んで運動しようとする意欲を育てる。 ③体力テストの結果を踏まえ、課題となっている筋力・持久力を高める運動を、準備運動等を工夫して授業の中で意図的に取り入れる。	
	国際	1 児童の興味関心を高め、進んで学習に取り組めるよう、ゲームや歌を取り入れ、様々な教材を用意する。また会話練習等、児童同士のコミュニケーションの時間を十分にとる。 ②ターゲットイングリッシュの定着に全学年で取り組む。中学年より読み書きを取り入れ、基本的な単語や句型を身に付けさせる。学年に応じた学習シートを用意し、児童の学習状況を確認する。	
総合的な学習の時間の重点			<ul style="list-style-type: none"> <li>「芝浦の子」（ルールブック）を活用することによって、集団生活での基本的行動様式を十分理解させ、規範意識を高める。</li> <li>一貫した指導体制のもと、保護者や地域・関係諸機関との連携を強め、非行や交通事故・災害被害を未然に防ぐ能力を培う。</li> </ul>

**本校の授業改善に向けた視点**

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業力向上のため、授業時数の確保を徹底するとともに、基礎的・基本的学力の定着をはかるための時間を設定する。</li> <li>○読書習慣を身に付け、言語活動の充実をはかるために昼読書の時間を設定する。</li> <li>○体力向上や異学年交流の充実をはかるために、季節に応じた集団活動の時間を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆学力調査等の結果分析を基に、十分達成できていない内容について個に応じた指導を充実させる。また算数科で習熟度別指導、音楽・図工科で全学年教科担任制等を導入することにより、教師の専門性を活かした授業を行う。</li> <li>☆アクティブ・ラーニングに重点をおき、全教科において問題解決型学習を展開する。</li> <li>○児童の興味関心を喚起するために、体験学習の充実を努める。その際に地域の人材や外部講師の協力も積極的に求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆校内研究では人権教育に取り組む。人権教育でどのような資質・能力を育てるのかについての「人権教育の視点」を明確にし、意図的・計画的に指導を行う。</li> <li>○OJTにおいては、授業参観をもとに助言・指導する体制を整え、教師としての資質及び授業力の向上を図る。</li> <li>☆港南アカデミーの一環として、芝浦幼稚園や港南中学校、港南幼稚園と連携し、アクティブ・ラーニングの授業研究に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究授業やOJTにおける教員相互の評価や、学力調査における児童への意識調査を分析し、授業改善や授業力の向上に努める。</li> <li>○学校関係者評価の内容を検討し、教育活動にいかしていく。</li> <li>○外部評価と自己評価の結果を吟味し、評価の低い点、評価が分かれる点を中心に課題を明確にし、改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者や地域、企業と連携を図り、授業や課外活動の場で、児童の興味関心を高める体験的な学習を行う。</li> <li>○月2回の土曜授業日等を活用し、保護者や地域に学校行事への参加を促し、学校の教育活動についての理解と協力を求める。</li> <li>☆防災教育や訓練を地域と共に行い安全についての意識を高める。</li> </ul>